

シゲルくん通信

115
2022年
11月
発行号

建物超寿命化支援企業の
株式会社シゲル・コーポレーションが
毎月発行する瓦版です

NEO

当社が協賛するBSNラジオ番組『石塚かおりのBrand new day (7:15~8:54)』内にて
毎週火曜日、引き続き当社のCMオンエア中です!!!



★2023年の新しい当社カレンダー
完成しました!

こんにちは

【建物超寿命化支援企業】株式会社シゲル・コーポレーション
社長の増村文武です。

いよいよ本格的な冬の入り口にさしかかりましたが、お客様
のお建物の調子はいかがでしょう?

建物の劣化が顕著にならないうちに計画的な改修を施すこと
が、建物長寿命化の鍵となります。

来年春以降の改修・修繕計画を含めて、この冬も最適のご提
案をさせていただきます。屋根については当社のドローンによ
る現況調査も御活用下さい。

ぜひ、屋上・屋根・外壁の改修計画に際しては、当社にお声
かけをいただければ幸いです。



◎相手を思いやる言葉を
かけてみませんか

▲文・絵：ことだま千絵子

今月のトピックス

- I 「アロンウオール」工法の御紹介
- II 全アロン防水組合東北支部主催の勉強会
- III 社員研修会

来春の建物改修にも威力を発揮します! 「アロンウオール」工法の御紹介

当社が長年に渡り実績を重ねてまいりました
高い信頼性を誇る外壁防水材による改修工法です
塗装が施された建物に適し、外壁からの漏水防止と
建物長寿命化・資産価値の向上をお約束いたします

建物長寿命化を目的とした外壁改修に
効果的なアクリルゴム外壁化粧防水材
(JISA6021 10年外壁防水保証対応品)
(東亜合成株式会社製)

◆ アロンウオール工法の特徴 ◆

1. RCやALC外壁建物を短寿命化させる劣化因子を遮断
2. 低温化でもひび割れ追従性に優れた塗膜により
高い外壁防水効果を長期に渡り保持します
3. 塗膜そのもので外壁に対する剥落防止効果があり
阪神大震災や東日本大震災においても実証済、
地震対策としての仕上材としても最適
4. 多彩な仕上げバージョンを有し優れた美装性
5. 材料メーカーはアロンアルファでおなじみ

〈アロンウオール工法〉近年の当社施工実績は
下記ドローン竣工動画よりぜひ御確認下さい

株式会社サンロイヤル新潟 様



特別養護老人ホームほうせい園 様



新潟市立 横越総合体育館 様



社員研修会

今回は若手・中堅社員を対象にした研修会を、
11月5日(土) 新潟ユニゾンプラザにて実施しました。
講師に、第四北越リサーチ&コンサルティング株式
会社 浅井様をお迎えして『職業能力の自己分析・
組織原則の再確認』をテーマとした研修を受けま
した。グループ討議にも熱が入りました。



講師 浅井 様



▲研修の様子

全アロン防水組合 東北支部主催の勉強会

10月21日(金) アートホテル新潟駅前にて、全アロン防水組合
東北支部主催の勉強会が開かれました。当社からは営業部員
が出席し、お客様にご提案する際の新しい補足資料の使い方
を学びました。今後お客様への改修提案時には、建物ライフ
サイクルコストのわかりやすい資料などを添えて、建物改修
計画のお力添えをさせていただきます。



★当日は、当組合の総務営業委員会副委員長増村より
説明をさせていただきました。

連載第55回 今月のテーマ

『スーパーヒーローが善人ばかりとは限らない』



★今月のイラスト
『キャプテン・アメリカの無敵の盾』

自称、シゲル・コーポレーション内で一番の映画好き、増村文武です。

映画とは別物ですが、アメリカ製の連続配信ドラマシリーズ『ザ・ボーイズ』、最近ハマってました♡ 超人的な能力を持つ者達を集結させ、それを商用や軍事ビジネスに悪用することで巨富を得ている巨大企業が牛耳る近未来 恋人を超人が絡む事故で亡くした主人公が、同じような境遇で超人達に恨みをもつグループ“ザ・ボーイズ”に加入し、腐敗したスーパーヒーロー達の悪をあばき対決を挑む本シリーズ 出てくるキャラや展開が強烈すぎて、面白くて目が離せない

ということで、連載第55回目、今月のテーマは 『スーパーヒーローが善人ばかりとは限らない』 です 今回もテーマに即した選りすぐりの3本をご紹介します



★毎月掲載している挿絵はこちらからもどうぞ。

① 『スーサイド・スクワッド1&2 (2016年、2021年 アメリカ映画)』

アメコミの双壁といえば『アイアンマン』『スパイダーマン』のマーベルコミック、そして『スーパーマン』『バットマン』のDCコミックスとなるわけですが、本作はDCコミックスの悪役超人、いわゆる“スーパーヴィラン”を集結させて、連帯感最低な最凶チームが決死の作戦を繰り返していき異色のシリーズ 登場する各キャラの皆さんが三者三様、強烈にぶっ飛んでいるのが最高に楽しい~ チームの連携なんて殆ど無視しながら結果的にうまく納まってしまうのは、1985年セ・リーグ優勝の吉田監督時代の阪神タイガース的(笑) マーゴット・ロビー演じるヒロイン役の精神科医ハーレイ・クインやジョーカー役のジャレット・レトの演技、完全にいっちゃってます 1作目に登場、上記『ザ・ボーイズ』にも重要キャラで登場する日系アメリカ女優福島かれん演じるカタナや、2作目に登場するキュートで粗暴なサメ人間ナノウエも魅力的 本シリーズに対する映画評は酷評が多いけれど私は好きです あくまで映画は映画として楽しめる心の余裕を鍛えるにはお薦め

② 『ブライトバーン/恐怖の拡散者 (2019年 アメリカ映画)』

スーパーマンが悪い心の持ち主だったら的な発想から、おそらく生まれた本作 上記『スーサイド・スクワッド』とは打って違って、とても暗くて怖~い本 アメリカカンザス州のブライトバーンに、ある夜宇宙船が墜落 ブライア夫妻が営む農場に墜落した宇宙船の中には男の子の赤ん坊がいて、夫妻は彼をブランドンと名付けて自分たちの子供として育てることに このあたりまでは全くもって『スーパーマン』と同じなのですが、やがて彼が思春期にさしかかる頃、彼は自身が持つ超人的な能力に徐々に気づきはじめていきます そしてその覚醒はやがて、家族や周囲の者たちを悲劇的な結末に向かわせる引き金となってしまいました… 主人公の子役の彼が覚醒にともなって、かわいい⇒不気味に変わっていくところが見どころ ラストは続編を匂わせる終わり方ですが、こんな心が凍るような超人がいたら本気で手の打ち用無し

③ 『ヴェノム 1&2 (2018年、2021年 アメリカ映画)』

主人公の記者エディは、危険な人体実験を行っている噂される実験施設に侵入しますが、そこでタール状の地球外生命体・シンビオートに寄生されてしまいます やがて凶暴性が増し、空腹感が日まじりに強くなっていくエディ ある時ついに同化していた寄生体が宿主エディの体を変異させてその恐ろしい全容を表します ヴェノムと名乗る寄生体は、容赦なく人を襲い食料のように人を喰ってしまいます 自分自身を制御できず途方にくれるエディですが、恐怖心のいっぼうで、徐々にヴェノムの驚異的なパワーに魅了されはじめていきます… コミックでは『スパイダーマン』の宿敵悪役で登場するキャラを描いた本作、こんな強いヤツと互角に戦うスパイダーマンの強さも改めて逆に再認識 エディを演じるトム・ハーディの少しとっぽい雰囲気ハマってます 以前紹介した戦争映画『ダンケルク』での英国パイロット役や、メル・ギブソンからバトンタッチしてマックス役を演じた『マッドマックス 怒りのデス・ロード』も、彼主演作品ではとても好きな作品

もし御興味が沸いてきましたら、皆様もぜひ一度御鑑賞を (^_-)-☆

